

令和8(2026)年 学校アンケート特別号

学校だより 糞谷

ホームページ <https://www.ota-school.ed.jp/koujiya-es/>

令和8(2026)年2月24日

大田区立糞谷小学校

校長 田村 諭

(令和7年12月実施)令和7年度糞谷小学校の教育に関する保護者アンケート結果について

今年度も様々な学校運営に対して、保護者の皆様にはたくさんの御理解と御協力をいただきました。学校では、本年度の教育活動を十分検討するとともに、来年度に向けてよりよい教育計画を立案、作成していく段階になりました。ここに皆様から頂戴したアンケートの結果を報告させていただきます。

○回答率(単位:%)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校
令和7年度	61.9	53.9	51.6	64.9	36.6	46.0	53.1
令和6年度	56.9	53.3	54.9	55.4	46.6	51.4	52.8
令和5年度	73.0	85.6	73.0	81.1	86.5	83.5	81.2

よりよい教育計画を立案するためにも、多くの御意見を頂戴したいと存じます。今後も御協力ください。

○学校評価の分析と結果 数字は今年度、カッコ内は昨年度を表します。

・学校運営について

- 1 本校の学校経営方針や学校運営の方針は、分かりやすい。(学校のホームページも含む。)
- 2 本校は、学校だよりや学校のホームページなどの情報で学校の様子が分かるようにしている。

「とても思う」、「思う」を合わせて、1は 76.2(81.2)%、2は 75.7(83.6)% の回答をいただきました。本年度は教員の相次ぐお休み等があり、担当者が補教体制に入ることが多く、なかなか更新をすることができませんでした。何をどのように簡潔にお伝えしていけばよいのか、校内にてまた考えてまいります。学年だよりを廃止し、学校だよりの中で各学年のお知らせをしてまいります。tetoru(テトル)を通しての配信となります。3月号より施行してまいります。

・学習面について

- 3 本校では、授業内で、児童同士の交流が行われている。
- 4 本校の教師は、タブレットや電子黒板等のICTを活用するなど、児童が分かりやすい授業を行っている。

「とても思う」、「思う」を合わせて、3は 92.9(87.5)%、4は 86.2(81.6)% の回答をいただきました。昨年度に引き続き、次年度も、児童の実態を踏まえつつ、分かりやすい授業を行うよう努めて参ります。ただ、授業とは無関係の Youtube 等の動画を見たり、タイピングソフトやネット上のミニゲーム等を行ったりと、授業中にタブレットに夢中になる児童も高学年になるほど多く、けじめをつけようとするモラルを身に付けさせるためにも、大人の協力が必要だと感じています。

・生活面について

- 5 本校の児童は元気にあいさつしている。
- 6 本校で教員が指導した『糶谷小のきまり』を児童が理解している。
- 7 本校の児童は、差別、いじめ、仲間外れがいけないことを理解している。
- 8 本校はサポートルームの指導や個に応じた支援について、担任や支援員を通じ、周知している。

「とても思う」、「思う」を合わせて、5は 69(73.4)%、6は 57.7(60.1)%、7は 71.1(72.7)%、8は 71.1(75.0)%の回答をいただきました。5と6については20%以上の方が「あまり思わない」「思わない」に回答されています。登校時に教職員からの挨拶への応対や各授業での号令の挨拶で、できていない児童が多い現状があります。また、公開授業等でも保護者や地域の皆さんと挨拶しない場面にもたくさん出会います。地域を上げて挨拶ができるこどもたちに育てていきたいと思えます。

また、暴言や暴力のトラブルが多くなってきています。同級生、下級生、教職員等にかまわず、人格を否定するような言葉や場に合わない発言を繰り返したり、自分の思い通りにならないと物を投げたり、壊したり、力強く叩いたり、蹴ったりする児童を一定の時間、指導する、なだめる場面が多くなってきました。お子さんはもちろんですが、教職員もこのことが原因で怪我や欠勤になることもあります。

もちろん、私たち教職員も逆があってはならないと強く考えています。感情的になって指導しないように、繰り返し研修をしています。何かお子さんの話からお話しがありましたら、学校の方までお知らせください。

『糶谷小のきまり』は、たくさんさんのきまりが書かれた文章ですが、この学校に通う児童である限り、守ることです。例年、年度初めに周知していますが、必要に応じてこまめに確認するようにし、その徹底に努めて参ります。

・体力面について

- 9 本校は、心身の健やかな成長のために体を使った体育授業を行っている。

・地域との連携について

- 10 登校時、教員は校門そばに立ち、安全を守るとともに挨拶をしている。
- 11 本校は、地域やPTA、保護者の活動に協力的である

「とても思う」「思う」を合わせて、9は 90(83.6)%、10は 76.6(70.3)%、11は 83.7(84.0)%の回答をいただきました。本校では、今後も引き続き、登校時間の児童見守り当番を決め、毎朝正門、東門、西門で教員が挨拶を行っています。今後も児童の安全を守るために活動を続けて参ります。

・家庭学習について

12 本校の家庭学習の量は適切である。

・お子さんについて

13 お子さんは、日頃の学習内容を理解して家庭学習に取り組んでいる。

14 お子さんは、学校に行くことを楽しみにしている。

15 お子さんは、学校での学習を楽しんでいる。

16 お子さんは、学校で友達と仲良く過ごしている。

「とても思う」「思う」を合わせて、12 は 81.2(69.1)%、13 は 78.2(81.6)%、14 は 84.5(84.8)%、15 は 77(75.4)%、16 は 89.5(91.8)%の回答をいただきました。家庭学習については、宿題だけでなく、教科書の音読、読書、授業の復習等も含まれます。学年の数字×10分をまずは目安として取り組ませたいです。なお、3年生、4年生の社会の学習については、大田区、東京都の教科書を中心に学習をしており、3年生は大田区の学習、4年生は東京都の学習をしています。そのため、全国版の教科書とは学習内容が異なります。

○自由意見と児童用学校生活振り返りアンケートの分析と解説

1 アンケートから見えた本校の強み

- ・「こどもが楽しく登校している」「担任を信頼している」との声が多数寄せられました。
- ・給食や体育など、日々の学校生活への満足度は概ね高い結果でした。
- ・児童からも「学校が楽しい」「先生と関わる時間が好き」といった前向きな声が多く聞かれました。

教職員への信頼という温かい土台があることを、大変ありがたく受け止めています。

2 重点的に改善に取り組む事項

① 落ち着いた学習環境の確保

【課題】

- ・授業中の私語や落ち着きのなさ
- ・若手担任への支援体制への不安
- ・低学年の ICT 活用への慎重な御意見

【今後の取組】

「静かに学びたい」という児童の声を大切に、学ぶ権利を守る環境づくりを進めます。

② いじめ・トラブル対応の透明性向上

【課題】

- ・トラブルや怪我の報告が十分でないと感じるケース
- ・改善の様子が見えにくいとの御意見

【今後の取組】

「解決したから伝えない」ではなく、「事実を共有する」姿勢を大切にします。

③ 行事と体験活動の充実

【課題】

- ・ 行事の縮小や盛り上がり不足への御意見
- ・ 体験活動の減少を惜しむ声

【今後の取組】

子どもたちにとって「心に残る体験」を守り育てます。

④ 情報発信の充実

【課題】

- ・ HP・学校日記の更新頻度
- ・ 給食写真や行事日程の早期周知の希望

【今後の取組】

「見える学校づくり」を進めてまいります。

⑤ 持続可能な学校運営

【課題】

- ・ 働き方改革と教育の質の両立

【今後の取組】

学校運営協議会や保護者の皆様との対話を重ね、こどもの学びを最優先にしつつ、持続可能な体制を模索します。

3 児童の声から

- ・ 「授業を静かに受けない」
- ・ 「休み時間を大切にしたい」
- ・ 「いじめをなくしたい」

子どもたちの率直な思いを、学校改善の重要な指針としていきます。

今回のアンケートから、本校には確かな信頼の基盤があることが分かりました。同時に、安全や情報共有など、改善すべき点も明らかになりました。

学校と御家庭は、子どもたちを支える両輪です。

今後も対話を大切にしながら、より安心できる学びの場を共に築いてまいります。

保護者の皆様の回答や御意見、子どもたちの日々の学校での様子を見ながら、これからも地域の期待や時代の変化に寄り添った学校運営をして参ります。御協力ありがとうございました。